小児がん医療における心理社会的支援に関する課題と展望
～第2報：療養を支援する職種の実態～

丸嶋史代（CCS）1）田中恭子（医師）1）　作田和代（CLS）2）　平田美佳（看護）3）　永田雅子（心理）4）
鈴木彩（SW）5）　富澤大輔（医師）6）　米田光宏（医師）7）
1）国立成育医療研究センター小児内科系専門診療部こころの診療科　2）静岡県立こども病院
3）順天堂大学医療看護学部　4）名古屋大学心の発達支援研究実践センター
5）国立成育医療研究センター小児がん相談支援センター
6）国立成育医療研究センター小児がんセンター　7）国立成育医療研究センター外科・腫瘍外科

【背景・目的】

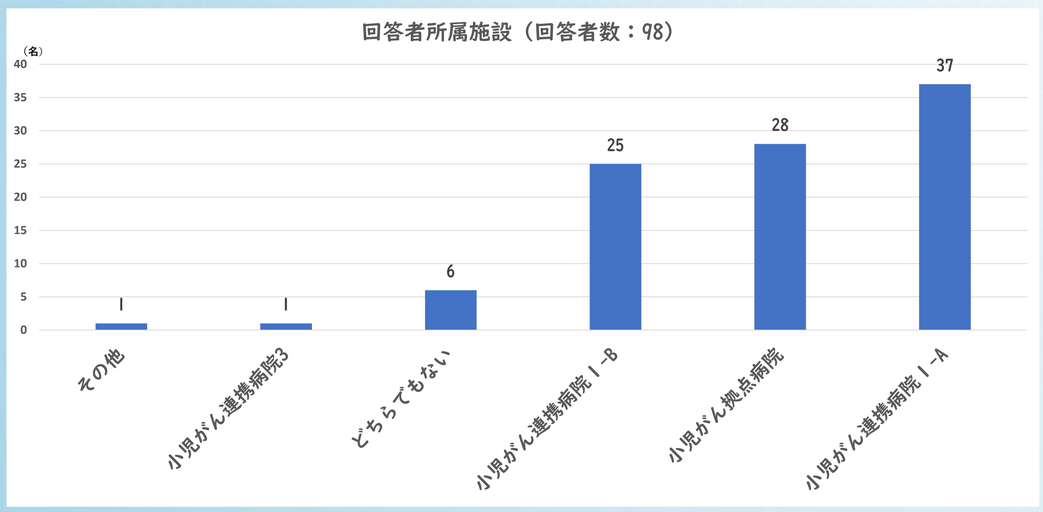
わが国の小児がん拠点病院等においては、心理社会的支援を行う診療従事者の配置などの検討が重ねられている。現状の課題として支援に関わる職種の役割や連携の在り方、リソース有無などは施設間相違が存在する。また、子どもの療養を支援する職種として、チャイルド・ライフ・スペシャリスト（CLS）、ホスピタルプレイスペシャリスト（HPS）、子ども療養支援士（CCS）の資格所持者が配置されているが、資格取得者も少なく、診療報酬とも結びついていないため雇用が進んでいない現状がある。本研究は、より適切な心理社会的支援体制を構築するため、小児がん治療を行う施設における実態調査を行い、とくに療養を支援する職種に関する課題を抽出することを目的とする。

【対象・方法】

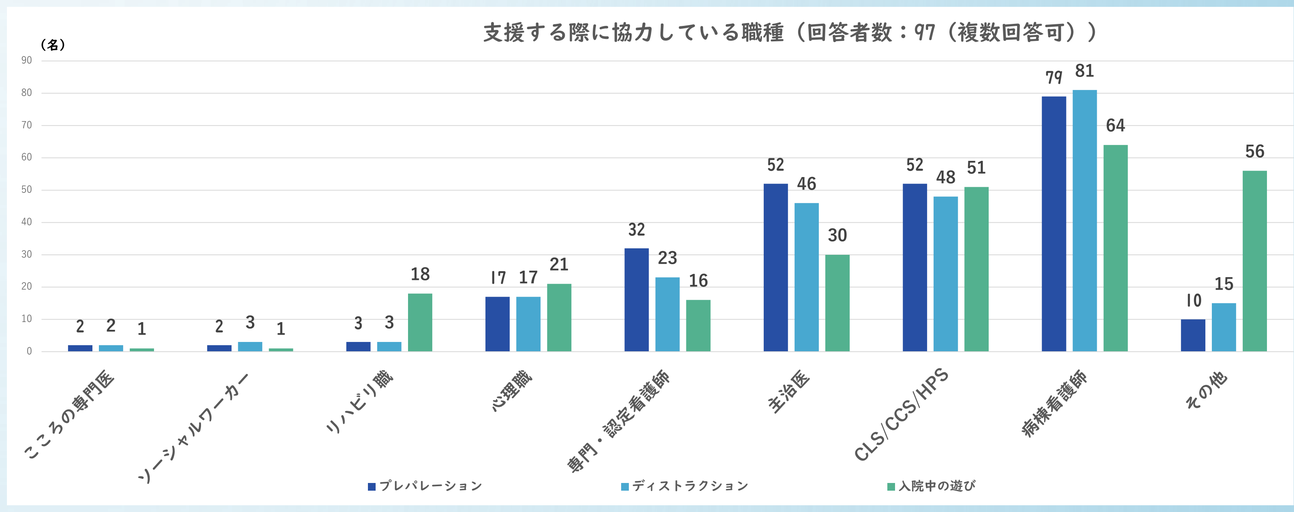
対象はわが国の小児がん拠点病院および小児がん連携病院で小児がん診療に関わる医師、看護師とした。質問項目への回答はFORMSを用いてオンライン上で行われ冒頭の同意回答が得られた者のみが質問項目への回答を行えることとした。回答に要する時間は15分程度で、得られた回答はオンライン上に保存され回答データとして後方視的に分析を行った。調査項目は心理社会的支援に関わる職種、役割、雇用状態、所属科、依頼方法、連携についてなどと設定した。本調査は当センター倫理委員会における審査で承認を得た。

【結果】

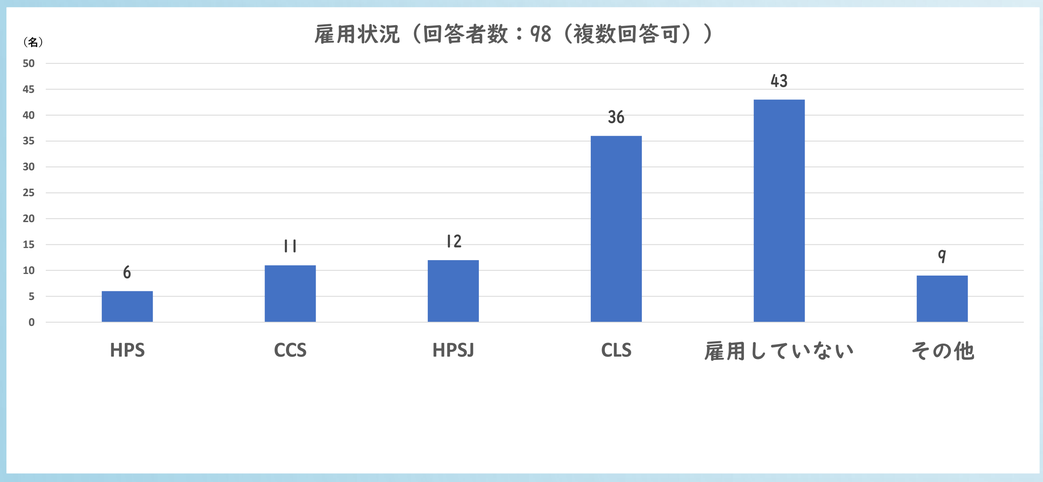
全回答数は100件（医師58名、看護師41名、未回答1名）であった【図１】。療養を支援する職種(CLS/HPS/CCS）の雇用は、CLSが36名と最も多かったが、半数近い43名は雇用していないと回答した【図2】。実際に連携する職種は支援内容によって異なるが、看護師、主治医との連携が最も多かった【図3】。また、療養を支援する職種に求められる支援内容としてプレパレーション、ディストラクション、治癒的遊びが最も多く【図4】、日本での養成を要望する声も高かった。自由記述では、当該職種の必要性を感じながらも専門性が不明瞭であることや、それぞれの職種がお互いの役割を発揮し、連携・協働していくことが必要であるという意見が多く挙げられていた。



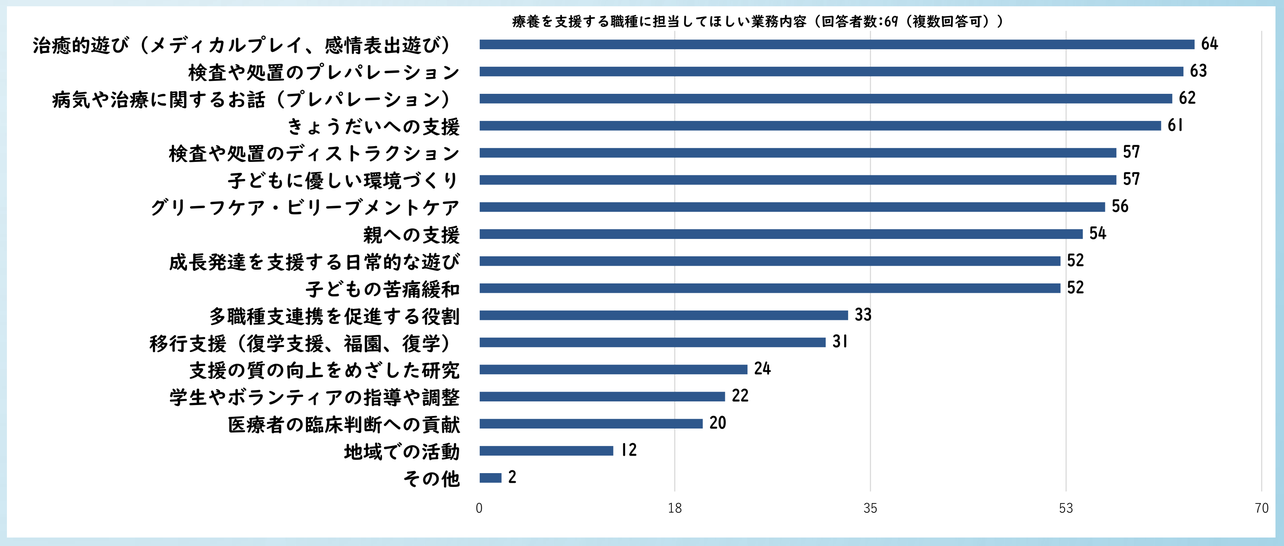
【図１】回答者所属施設



【図3】支援する際に主に協力している職種



【図２】子どもの療養を支援する職種の雇用状況



【図4】小児患者の療養を支援する職種に担当してほしい業務内容

【自由記述より抜粋】

- *常に子どもの権利が守れるように、子どもに携わるすべての職種が、それぞれの役割を発揮し連携・協働することが大切であると思う。*
- *どういうことが「心理社会的支援」でoutcomeが何なのか？しっかり用語定義して考える必要があると思います。*
- *子どもの成長・発達に応じた幅広い知識を有した人材の育成、登用が必須と思います。CLS、HPSの充実が入院する子どもやきょうだいにとっての心理社会的支援に繋がると思います。それが診療報酬の獲得に繋がれば子どもにとっても家族にとっても、また、医療を担う病院にとってもメリットがあると思います。*
- *医療現場では治療や今の状況を脱する関わりが優先されるため、ケアを実施する職種とは別の職種が丁寧に関わることが子どもの心理社会的支援につながると考える*

【考察】

小児がん医療において、子どもの療養を支援する職種への医師や看護師の期待は大きい。一方で、海外での資格取得に頼るのではなく、日本での養成数を増やしていくこと、これらの職種の役割の明確化や他職種との連携が課題である。現在の当該職種の有資格者は、CLS：62名（2024年5月現在）CCS:44名（2024年5月現在）、HPSまたはHPSJ：約250名（2023年11月現在）とその数は少なく、支援が必要な子どもや家族に支援が行き届いていない。今後、これらの職種が医療チームの一員として、子どもが主体的に医療経験に取り組むことを支援するために、専門職としての役割の明確化、育成の促進、我が国の小児がん医療における多職種連携のあり方の検討が必要である。

厚労研究科研2023年度 がん対策研究事業小児がん領域における療養支援職種の育成と心理社会的支援多職種ガイド開発に向けた研究班（EA-14）

全発表者：演題発表に関連し、開示すべきCOI（利益相反）関係にある企業等はありません。